

株式会社エムウェーブ第20期事業報告書

自：平成28年4月1日

至：平成29年3月31日

1 事業の概要

(1) 事業の経過及びその成果

地域の発展と振興のため積極的な営業活動を展開するとともに、「エムウェーブ」及び「ビッグハット」を長野の貴重な財産として情報発信を行い、関係機関との有機的な連携をはじめ、良質なサービスの提供、施設利用の一層の促進、運営面での更なる効率化、合理化に努めてまいりました。

当期の経営成績につきましては、ゲネプロをはじめとするイベントの増加、スケート大会の増加などで、通期での売上高は、6億8,298万円と前期より890万円増加しました。

販売費及び一般管理に係る営業費用については、6億5,304万円となりました。これは、作業委託費や光熱水費は減少したものの、消耗備品費などの増加により、前期と比較して221万円増加いたしました。

なお、スケートの振興発展のため、引き続き「ながの夢応援基金」へ4,500万円を寄付しております。

最終的に、当期の営業外損益等を含めた税引前当期純利益は、前期と比較して529万円増の2,846万円となりました。

(2) 施設部門別実績

【エムウェーブ部門】

① 施設見学及び売店部門

「長野オリンピックミュージアム」は、アスリートからの借用などによる展示物の充実や展示ケースの確保を進めていますが、見学者は8,220人で613人増の微増でした。

売店の売上は、東京オリンピック・パラリンピックライセンス商品の販売を6月から開始したこと等に伴い、316万円増の441万円となりました。

② 貸館部門

貸館営業につきましては、継続的にご利用いただいている顧客への営業も含め、ビッグハットと営業面での連携を図りつつ、コンサート、展示会など大規模イベント等の誘致・開催に努めました。全国植樹祭をはじめとする大規模なイベントがあったものの、ゲネプロのキャンセルなどにより、売上は8,996万円と好調だった前期と比較して5,685万円の減少となりました。入館者数は1万人減の約28万人でした。

③ スケート部門

スケート大会につきましては、ISUワールドカップや国体スケート大会などを開催し、売上は4,576万円で、1,948万円の増加となりました。スケート大会の入場者数は約42,000人でした。

スケート入場売上は5,767万円で、前期と比較して117万円の増加となりました。無料開放を7日間実施したスケート入場者数は、NTC利用者を含め78,682人で、前期と比較して7,935人減少しました。

エムウェーブのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成28年10月1日	全日本及び競技者合宿受入
10月2日	スピードリンクオープン（一般営業開始）
10月30日	ホッケーリンクオープン
11月2日	スケート教室受入開始
平成29年3月12日	営業終了

■ 製氷日程

スピードスケートリンク	平成28年9月12日	準備開始
	9月30日	製氷終了
アイスホッケーリンク	平成28年10月3日	準備開始
	10月29日	製氷終了

■ NTC（ナショナルトレーニングセンター）

アイスリンク専有時間	353.5時間
利用選手数	延べ17,431人（うち、NTC選抜有資格者9,122人）
トレーニングルーム利用者数	延べ3,607人

■ 無料開放（7日間）

1	平成28年10月2日（日）	
2	11月27日（日）	
3	12月18日（日）	
4	平成29年1月8日（日）	
5	2月25日（土）	氷の彫刻展同時開催
6	2月26日（日）	〃
7	3月12日（日）	

■ 市内小学校スケート教室

教室開催日	36日間
参加学校数	延べ56校
参加者数	延べ 8,123人

■ 主な競技会・イベント

1	第23回全日本スピードスケート距離別選手権大会	平成28年10月21日（金）～23日（日）
2	2016/2017 ISUワールドカップスピードスケート競技会長野大会	平成29年11月18日（金）～20日（日）
3	第41回全日本スプリントスピードスケート選手権大会	平成28年12月28日（水）～29日（木）
4	第42回長野県ジュニアスピードスケート競技会・東北信大会	平成29年1月22日（日）
5	第72回国民体育大会冬季大会スケート競技会（スピード）	平成29年1月28日（土）～31日（火）
6	第37回全国中学校スケート大会（スピード）	平成29年2月4日（土）～2月7日（火）
7	第15回エムウェーブスピードスケート競技会	平成29年2月17日（金）～19日（日）
8	第17回氷の彫刻展	平成29年2月25日（土）～26日（日）
9	第47回長野市スケート競技大会	平成29年3月11日（土）スピードスケート 12日（日）フィギュアスケート

④ その他

館内の広告看板営業収入につきましては、3件の契約獲得に伴い、106万円増の627万円となりました。

【ビッグハット部門】

① 貸館部門

貸館営業につきましては、コンサート、各種製品の展示販売会や団体の大会等様々な分野でのイベントを積極的に誘致し事業を展開しました。コンサート3件やゲネプロ2件、アイススケートショーなど大規模イベントの開催により、売上は1億4,629万円と前期と比較して4,697万円の増加となりました。入館者数は1万人減の約38万人でした。

② スケート部門

全日本アイスホッケー選手権大会や国体のフィギュア・ショートトラックスケート大会、全中のフィギュアスケート大会が開催され、スケート大会売上は1,395万円、スケート入場売上は364万円となり、合わせて前期より594万円の減少となりました。

ビッグハットのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成28年12月12日	リンクオープン アイスホッケー・フィギュアスケート練習開始
平成29年2月26日	リンク営業終了

■ 製氷日程

平成28年11月24日	準備開始
12月11日	製氷終了

■ 主なイベント及び競技会

1	全日本アイスホッケー選手権大会	平成28年12月16日（金）～18日（日）
2	第26回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校低学年）	平成28年12月23日（金）～24日（土）
3	第26回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（中学生）	平成29年1月14日（土）～15日（日）
4	第26回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校高学年）	平成29年1月21日（土）～22日（日）
5	第72回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア・ショートトラック）	平成29年1月27日（金）～30日（月）フィギュア 30日（月）～31日（火）ショートT
6	第37回全国中学校スケート大会（フィギュアスケート）	平成29年2月5日（日）～2月7日（火）
7	第36回松澤記念アイスホッケー大会	平成29年2月24日（金）～26日（日）

(3) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
売上高	93,020	503,205	477,700	427,268	411,745	342,744	360,336	368,690	226,660
当期損益 (税引後)	△9,014	△32,767	32,162	5,041	6,673	△279	8,568	6,572	18,438
1株当り 当期損益	円 △1,502.35	円 △5,461.1	円 5,360.47	円 840.22	円 1,112.14	円 △46.52	円 1,428.05	円 1,095.37	円 3,072.95
純資産	290,986	258,219	290,382	295,423	302,096	301,817	310,385	316,957	335,395
総資産	345,709	318,346	348,281	377,501	334,536	327,694	350,694	349,387	383,298

区 分	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
売上高	626,482	643,286	628,308	648,565	677,245	627,560	644,889	663,919	639,418
当期損益 (税引後)	36,142	18,123	14,059	16,599	19,293	12,519	2,578	5,978	12,185
1株当り 当期損益	円 6,023.69	円 3,020.33	円 2,703.64	円 3,192.09	円 3,710.20	円 2,407.55	円 495.91	円 1,149.65	円 2,343.43
純資産	371,537	389,660	363,719	380,318	399,611	412,130	414,709	420,686	432,872
総資産	450,954	464,166	430,645	473,967	470,712	483,716	488,594	507,272	505,043

区 分	第19期	第20期							
売上高	674,087	682,983							
当期損益 (税引後)	13,658	16,386							
1株当り 当期損益	円 2,626.62	円 3,151.22							
純資産	446,531	462,917							
総資産	539,002	563,713							

(注)

- 第1期は、当社設立が6月1日であり、9月30日までの4か月間であります。
- 第9期から事業年度を4月1日から翌年3月31日までと変更したため、第9期は6か月間であります。
- 1株当たり当期損益は、期末発行済株式の総数から算出しております。なお、発行済株式の総数については、自己株式を除いております。
- 第10期からビッグハット及び若里市民文化ホールの指定管理業務を行っております。

(4) 設備投資の状況

- ① エムウェーブの南側スケート入り口に自動ドアを設置しました。
- ② エムウェーブのイベント開催時などの館内連絡を容易にする無線器及び中継器を設置しました。
- ③ ビッグハットの会議室、更衣室、楽屋などの照明をLED化しました。
- ④ 若里市民文化ホールの椅子座面下のストッパーゴムを更新しました。

(5) 資金運用の状況

資産の有効な管理として、第7期から国債を購入してあります。現在、1億3,000万円分(2本)を保有しています。

(6) 会社に対処すべき継続的課題

- ① 長野オリンピックの貴重な遺産である「エムウェーブ」、「ビッグハット」を長野の財産として後世に引き継ぐとともに、長野の知名度、イメージアップ、地域振興のため、情報発信を積極的に行う。
- ② スケートをメジャーなスポーツに育て、長野をスケートの聖地とするため、スケート普及振興に対し、物心両面でのサポーターとなる。
- ③ 合理的、効率的な経営を行い、常に良質なサービスの提供と継続的な黒字経営に努める。

2 会社の現況

(1) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	24,000株
発行済み株式の総数	6,000株 (内、自己株式 800株)
株主数	8名

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率 (%)
長野市	3,000	57.7
長野県	600	11.5
株式会社 前川製作所	800	15.4
鹿島建物総合管理 株式会社	500	9.6
株式会社 八十二銀行	160	3.1
長野信用金庫	80	1.5
長野県農業協同組合中央会	30	0.6
長野都市ガス株式会社	30	0.6

(注) 出資比率は、自己株式（800株）を控除して計算しています。

(2) 取締役及び監査役の氏名等（平成29年3月31日現在）

会社における地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役会長	加藤 久雄	長野市長
代表取締役社長	土屋 龍一郎	株式会社エムウェーブ（常勤）
専務取締役	寺澤 正人	株式会社エムウェーブ（常勤）
取締役	小林 資典	長野県教育委員会事務局教育次長
取締役	松田 好功	株式会社八十二銀行常務取締役
取締役	樋口 博	長野市副市長
取締役	久保田 高文	長野市商工観光部長
監査役	青木 敏雄	長野信用金庫専務理事
監査役	春日 十三男	長野県農業協同組合中央会専務理事

(注) 当該事業期中の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1 就任

平成28年6月23日開催の第19期定時株主総会におきまして、上記取締役が選任され、その後開催された取締役会において、代表取締役会長加藤久雄氏、代表取締役社長土屋龍一郎氏、専務取締役寺澤正人氏が選任されました。

(3) 従業員の状況（役員を除く。）

人 数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	4名	48歳0月	4年7か月
女 性	5名		

(注) 上記のほか、株式会社JTB中部から1名、人材派遣会社から2名の派遣を受け運営いたしました。